

### 原町田中央通り社会実験の概要

原町田中央通り（町田市）は、「町田市中心市街地まちづくり計画(2016)」に掲げる「個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト」の先行街区として、沿道空間を活用した魅力づくりに継続的に取り組んでいます。

このような取組みの一環として、2022年10月～11月にかけて、町田市、町田まちづくり公社、商店会の共催のもと、Machida Weekend Street（ストリート空間活用の社会実験）が行われました。

同社会実験の中で、沿道空間を活用した物販やワークショップ、イベント等が日替わりで実施されました。



実証実験の様子（ソフィア町田前）



実証実験の様子（ローソン前）



実証実験の様子（ぼっぼ町田前）

### 一ご担当者様の声一

#### 鈴木 不二人様

株式会社 町田まちづくり公社  
中心市街地活性化推進室 係長



町田では継続的に公共空間活用の社会実験を行っており、2021年に実施した「原町田大通り 滞留空間創出社会実験ーもしも原町田大通りー」では、NIKKEN ACTIVITY DESIGN Lab(NAD)に企画、デザイン、トータルディレクションのご協力を頂いています。

2022年に実施した「Machida Weekend Street」は、沿道の民地、道路等、多様な区画が活用用地とされた点が特徴です。

性格の異なる複数の区画において、日常的な活用機会の増大、質の向上、管理運営の効率化などを同時に解決していくため、NIKKENのSTAASメンバにご協力頂き、システムを試用しました。

具体的には、STAASシステム上で、活用可能な沿道の12区画を設定し、移動式店舗などによる延べ90回のサービス活用の管理を行いました。

社会実験中の来街者アンケートでは、「このような通りの使い方の継続してほしい」と回答する方が全体の9割を超える結果となり、課題はあるものの、可能性を感じることができました。